

お客様各位

令和4年9月30日

有限会社中央食品加工
代表取締役社長 檜村 充彦

「ちゅら鶏砂肝」の異物混入に関する報告

この度、沖縄県食鳥処理協業組合で製造し、弊社が金秀商事様へ納品した「ちゅら鶏砂肝」に異物が混入していた件で弊社でも沖縄県食鳥処理協業組合と共に原因の調査をしてまいりました。

鶏は元来なんでも啄む習性があり、異物を砂肝に取り混んでしまいます。弊社が食鳥処理を依頼している沖縄県食鳥処理協業組合における食鳥処理工程においては、その事を認識し、砂肝に入った異物は本来食鳥処理工程の砂肝製造工程中で排除されるべきでしたが、食鳥処理作業において注意不足が発生し、洗浄不足・検品工程で見落としがあり異物の混入に至ったと思われます。

異物混入再発防止対策として有限会社中央食品加工としても重大な事と重く受け止めております。今後は沖縄県食鳥処理協業組合と共に検品強化を進めてまいります。

- 1・砂肝製造工程での再発防止策が確実に行われているかどうか日々確認していきます。
- 2・砂肝カット後の内容物の確認を行い、異物があつた場合は作業従事者への注意喚起をいたします。
- 3・異物の出たロットの農場へフィードバックし農場でも異物対策をするよう注意喚起いたします。
- 4・当面の間、砂肝スキナーの工程に人員を増員し検品を強化していきます。
- 5・冷却・殺菌工程での目視確認を強化していきます。
- 6・最終製品確認である検品・袋詰め工程でも検品強化していきます。

今後は、二度とこのような事がないよう有限会社中央食品加工としても、沖縄県食鳥処理協業組合の食鳥処理工程における異物混入対策にたいして積極的に関わり、沖縄県食鳥処理協業組合と共に再発防止に努めてまいります。